

< あなたの治療について >







呼内-GEM-NSCLC-q4W

今回の治療は、GEM 療法という治療法で、ジェムザール（GEM）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目と15日目に点滴を行います。この治療を4週間（28日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目	15日目	16~28日目
	デキサート (吐き気止め)	点滴 約30分						
	ジェムザール (抗がん剤) 1000mg/m ²	点滴 約30分		お休み		お休み		お休み

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

ジェムザールについて

白血球減少、好中球減少、赤血球減少、ヘモグロビン減少及び血小板減少
ALT (GPT) 上昇、AST (GOT) 上昇 食欲不振、悪心・嘔吐 発熱 疲労感

特徴的な副作用について

ジェムザールにおける

間質性肺炎

「息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱」などの症状

過敏症状

発疹、かゆみ、気管支痙攣、呼吸困難、血圧低下など

傾眠

傾眠が認められることがあるので、このような症状が発現しないことが確認されるまで、自動車の運転等を行わないように注意すること。

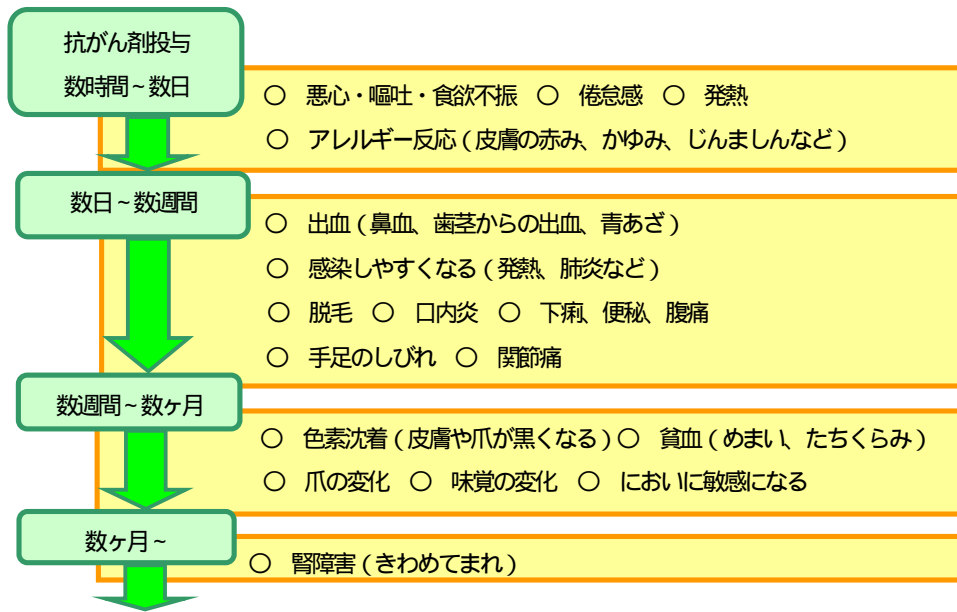
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗癌剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）

まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【ジェムザール】

<骨髄抑制>発熱、寒気がする、のどが痛む；口の中に白い斑点ができる；手足に赤い点（点状出血）または赤いあざ（紫斑）ができる、出血しやすい（歯ぐきの出血・鼻血など）；水のような下痢；口内炎；通常的生活をしていてだるさが続く、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる、顔色が悪いといわれる

<間質性肺炎>息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱

<アナフィラキシー様症状>顔が赤く熱くなる、皮膚が痒い、蕁麻疹が出る、唇や舌・手足がしびれる、くしゃみ・咳が出る、気分が悪い、心臓がドキドキする、尿意や便意を生じる、喉がつまる、息が苦しい、目の前が暗くなる

<心筋梗塞>急な胸の強い痛み、胸が締めつけられるような感じがする、胸が圧迫されるように苦しい

<うつ血性心不全>階段や坂道をすこしのぼただけで息切れがする、疲れやすい；足がむくむ、横になると息苦しく座っている方が楽である、夜間にせき込む

<肺水腫>息苦しい；座っている方が呼吸が楽である；呼吸回数が増える；胸が痛い、悪心・嘔吐、咳込む、脈が速くなる、ピンク色の泡状の痰が出る

<気管支痙攣>胸が押さえつけられるような感じ、息がつまる感じ

<成人呼吸促迫症候群>息が苦しい、せきがでる、不安になる、呼吸がはよくなる、脈がはよくなる、汗が出る、体重が減る

<腎不全>顔や手足がむくむ、からだがだるい、尿の量が減る、尿が赤みを帯びる、発熱、発疹、お腹が痛む、吐き気、下痢、節々が痛む、体重が減る

<溶血性尿毒症症候群>息切れしやすい、呼吸がしにくい；尿が出にくい、顔や足がむくむ；顔色が蒼白になる、意識がもうろうとする；血便がでる、あざがでやすい

<皮膚障害>紅斑、水疱、落屑

<肝機能障害、黄疸>発熱（38～39℃）、ぶつぶつ様の発疹、食欲がなくなる、気分が悪くなる、下痢になる、しだいに強くなる全身のだるさ、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。